

上下水道局事業課長の仕事宣言！

事業課長 今村利昭

①重点施策項目名	安全安心な水道施設整備を行います
②目標値	配水管耐震率 〔平成30年度〕現状値 16%⇒平成30年度末 17% 〔後期基本計画期間〕平成26年度 12.3%⇒平成32年度 19%
③今年度の取組方針	3ヶ年計画で進めてきた急速ろ過池などの浄水場施設の更新および耐震化工事も最終年度となり今年度中の完成を目指します。 また、耐震率の向上を兼ねた老朽配水管の更新に加え、今年度から導水管の整備にも着手していきます。
④今年度の取組結果	今年度完成予定だった急速ろ過池築造工事については、施工上の都合で工事に遅れが発生しました。 配水管の更新工事については、今年度工事分を当初計画どおりにすべて完了し、耐震化を図りました。また、今年度から導水管や配水管の基幹管路の整備にも着手し、夜間での施工などを行って予定の工事を完了しました。
⑤数値目標の結果	配水管耐震率 平成30年度末 約17%
⑥成果と課題 (次年度に向けて)	水道施設整備実施計画に基づいた施設整備に伴い、これまでに着実な水道施設の更新及び耐震化が図られています。 次年度は、浄水場関連新工事の早期完了に努め、管路施設については、基幹管路更新等の十分な埋設計画を定め、計画的な更新・整備を進めていきます。

◇所管部長の指示

安全・安心な安定給水に向け、計画的・継続的に関係者・関係機関等との十分な協議に努め施設更新を推進していくこと。

上下水道局事業課長の仕事宣言！

事業課長 今村利昭

①重点施策項目名	効率的な下水道関連整備・効率的な汚水処理の実現
②目標値	公共下水道接続箇所 〔平成30年度〕現状値 3箇所⇒平成30年度末 4箇所
③今年度の取組方針	農業集落排水事業では現在市内2箇所の農業集落排水施設で汚水処理を行っておりますが、施設の老朽化が進んでいることから今後の施設更新等を考慮すると、隣接している公共下水道に接続し汚水処理を行った方が効率的で効果的であるため、今年度に1箇所の接続工事を実施します。
④今年度の取組結果	関係機関との協議を図り、口径100mmの圧送管2.4kmを布設し、中継ポンプ1箇所を設置して、概ね計画どおりに接続工事を完了することができました。
⑤数値目標の結果	今年度は、農業集落排水施設の4箇所目を公共下水道に接続しました。
⑥成果と課題 (次年度に向けて)	これまでに農業集落排水施設を公共下水道に接続したことで、施設の維持費等の削減効果を図ることができました。 来年度は、最後の於保里地区を接続し、今後は全て公共下水道事業の管理のもとで運営していきます。

◇所管部長の指示

今後も計画的に事業を進めることで、市民生活の向上に寄与すること。

上下水道局事業課長の仕事宣言！

事業課長 今村利昭

①重点施策項目名	浄化センター長寿命化計画の着実な推進を図ります
②目標値	計画的な施設更新
③今年度の取組方針	<p>鳥栖市の浄化センターは供用開始後28年が経過し、施設の老朽化や機能低下が見受けられることから、「浄化センター長寿命化計画」に基づき昨年度から工事に着手しており、今年度も継続的な工事を行っていきます。</p> <p>また、将来にわたり安定した事業を継続していくために、浄化センター基本計画の見直しを図ります。</p>
④今年度の取組結果	<p>本年度工事分の国庫補助金交付申請を行い、日本下水道事業団との協定を締結し、浄化センター長寿命化工事の汚泥処理設備工事及び、電気設備工事に着手しました。</p> <p>また、昨年度から継続して行っている部分の長寿命化工事については、当初の予定どおりに完了することができました。</p>
⑤数値目標の結果	浄化センターの長寿命化計画については、計画どおりの施設更新ができています。
⑥成果と課題 (次年度に向けて)	<p>下水道施設の健全な運営を考慮すると、早期の改築更新が望まれます。</p> <p>一方で、適正な維持管理を実施するには必要経費が増大することから、今後行っていくストックマネジメントも視野に入れ、安全で効率的な施設更新に努めてまいります。</p>

◇所管部長の指示

市民生活に直結した施設であり、計画的かつ効率的に進捗を図ること。

上下水道局事業課長の仕事宣言！

事業課長 今村利昭

①重点施策項目名	雨水対策事業による慢性的な浸水の解消を図ります
②目標値	進捗率 〔平成30年度〕現状値 0%⇒平成30年度末 15%
③今年度の取組方針	旭地区の浸水対策は長年の課題であり、この慢性的な浸水の軽減を図るための雨水対策事業に着手していきます。
④今年度の取組結果	旭地区の雨水対策事業については、今年度より事業に着手し、地元説明会を開催して近隣住民の理解を図り、工事発注を行いました。地下埋設物の関係で一部に工事の遅れが生じたものの、当初予定の今年度工事分を完了する見込みです。
⑤数値目標の結果	概ね計画どおりに進捗しました。
⑥成果と課題 (次年度に向けて)	旭地区の雨水対策事業は、国と県と市の一体的な整備が必要であり、今後についても国、県の事業進捗を見ながら計画に基づいて進めてまいります。

◇所管部長の指示

地元へ十分に説明を行いながら、適切に事業の進捗を図ること。